

小さなチャレンジを積み重ねることで、目に見えない「市風」ができあがると思います。



村野 勝子 × てだ子 × 松本 哲治
むらのかつこ てだこ まつもと てつじ

浦添市長
1967年生まれ。琉球大学法文学部卒業。英国系金融コンサルティング会社勤務を経て、米国・カリフォルニア大学バークレー校修士課程修了(96年)。浦添総合病院に勤務したのち、2002年に福祉系NPO法人を設立して代表理事に就任し、13年に行われた浦添市長選挙で初当選。17年に再選し、現在に至る。

100回目のセッションを飾るのは、7月に市制施行50周年を迎えた浦添市の松本哲治市長と、市内の児童・生徒に学校給食を提供しているオーディフィホールディングスの村野勝子代表。同市マスコットの「てだ子」も同席してくれました。

供「社会貢献」「人材育成」を理念に、主に学校・病院給食、保育園やこども園の調理業務、従業員食堂など、現在46の事業所で一日当たり約6万5000食を提供しています。私がついでまだ5年足らずですが、創業者である母はもちろん祖父母も浦添生まれです。私は小2の頃に浦添のことを社会科の副読本「ひゆく浦添市」で学んだのですが、子ども心に将来の浦添市にとてもわくわくしていたことを今でも思い出します。今の浦添は、かつて自分が学んだ通りにどんどん大きくなっている印象です。

松本 そうですね。確かに目に見える変化も大切ですが、私は目に見えないものもつくつていきたいと思っています。例えば会社に社風があるように、浦添にも「市風」というものがあるはずです。浦添に限らずどこの自治体にも当てはまることがあります。村野市風つていいですね。市長は浦添の市風はどのようなものだとお考えですか。

松本 だ子の紹介でも話しましたが、失敗を恐れずに何事にもチャレンジしていく行政も安心してチャレンジできるような市風があると思っていましたので、これをさら口一し合つて次に進める。浦添には市民も進めています。浦添の未来を語る時、ハード面だけではなくこのような市風を文化としてつくっていくことも大切だろうと思っています。

村野 今後、具体的にチャレンジしたことがあれば伺いたいです。松本ITなどのデジタル産業は浦添の市風に合っていると私は考えていますので、そこにチャレンジしたいですね。さらに言う

金銭的にメリットのない商品券を発行した意図

なら、それに最初にチャレンジすべきなのは、県内で浦添をおいて他ではないと思っています。そこで行政に課されるのは、最先端のテクノロジーを市民生活にどうリンクしていくか。デジタル化が進めば進むほど人間味がなくなっていくようなイメージもありますが、解決してそうではありません。市民が触れ合ったり、失敗を恐れずにチャレンジしたりしていくためにデジタルをどう活用するのか。それが私たちのチャレンジになります。

村野 私は最近、休日にカーミージー橋をよく散歩しています。とても素晴らしい景観で、新たな浦添市の顔という感じです。

松本 今まで浦添には海というイメージがありませんでしたからね。西海岸の特長としては、那覇に隣接していること、空港から近いこと、後背地に返還が予定されている広大なキャンプキンザーがあることなどが挙げられます。また、きれいな夕日を見ることができるのも西海岸ならではです。これらの条件は決してお金で買えるものではなく、将来の沖縄を牽引していくだけのすごいボテンシャルを秘めています。海岸線をどんどん埋め立ててしまふといけないというものではありませんし、まったく埋め立てないということでもあります。いろんなことにバランスを取りながら、沖縄の宝になるようなアリアにしていく。そういう将来に向けて今は非常に大切な時期だと思いますので、慎重に前進させていきたいと思っています。

村野 いろいろな方の意見を取り入れながら、浦添市はこの7月に市制施行50周年を迎えました。誠におめでとうございます。ところで私は今日が初対面になるのですが、隣の「てだ子」についてご説明いただけますか。プロフィールでは7歳の小学1年生で、ハンドボール好きなウーマークー。将来の夢が「てだコレディ」になることだそうですが、松本 ありがとうございます。てだ子は子どもの幸せを最優先する「てだこキッズファースト宣言大使」年齢:7歳、性別:ウーマークー(おでんば)、好きな食べ物:桑の実、好きなスポーツ:ハンドボール、将来の夢:「子どもたちの笑顔があふれるまちづくりのために、これから浦添市内を廻ります!会った時はやさしく声をかけて下さい♪」

さらに大きく変化するこれからの浦添市

村野 浦添市はこの7月に市制施行50周年を迎えました。誠におめでとうございます。ところで私は今日は初対面になるのですが、隣の「てだ子」についてご説明いただけますか。プロフィールでは7歳の小学1年生で、ハンドボール好きなウーマークー。将来の夢が「てだコレディ」になることだそうですが、松本 ありがとうございます。てだ子は子どもの幸せを最優先する「てだこキッズファースト宣言大使」年齢:7歳、性別:ウーマークー(おでんば)、好きな食べ物:桑の実、好きなスポーツ:ハンドボール、将来の夢:「子どもたちの笑顔があふれるまちづくりのために、これから浦添市内を廻ります!会った時はやさしく声をかけて下さい♪」

浦添市長
1967年生まれ。琉球大学法文学部卒業。英国系金融コンサルティング会社勤務を経て、米国・カリフォルニア大学バークレー校修士課程修了(96年)。浦添総合病院に勤務したのち、2002年に福祉系NPO法人を設立して代表理事に就任し、13年に行われた浦添市長選挙で初当選。17年に再選し、現在に至る。

予備校で学んだ仲間でもあります。あの頃とは2人ともだいぶ変わりましたが笑)、私たちの歩みも約半世紀ということで浦添市の歩みとほぼ重なっているところがあると思います。あらためて50周年を迎えた今のお気持ちをお聞かせ願えますか。

松本 まさか村野さんとこういう形で対談をすることになるとは思ってもみませんでした。お互い大人になりましたね(笑)。さて、浦添市は村からいきなり市に昇格し、この50年で大きな発展を遂げてきました。前の記憶は村野さんにも私にもほとんどないと思いますが、次の50年は例えばキャンプキンザーの返還、モノレールの延伸など、これまで以上の変化がやって来ます。今後、沖縄県のアジアにおけるプレゼンスが高まれば高まるほど、浦添市がその中心にあると考えています。

浦添の「市風」をつくつけていく

松本 村野さんが代表を務めるオーディフさんは、市内で学校給食を提供してもらっています。児童・生徒の大切な食事を支えているのが浦添で生まれ育った会社ということで、とても安心感を覚えています。

村野 ありがとうございます。弊社は今年で創業37年を迎えます。「安全・安心な食の提

医療法人陽心会グループ

医療法人陽心会 社会福祉法人陽風会 理事長 高良 健

大道中央病院 大道中央病院 〒989-869-0005 (代)
リハビリーション部門 TEL.098-869-0005

メドカルブザ大道中央 〒989-868-0007 (代)
一般内科部門 TEL.098-866-0115

循環器部門 TEL.098-866-5141

糖尿病部門 TEL.098-866-0115

人工透析部門 TEL.098-866-5151

検査部門 TEL.098-866-0131

介護老人保健施設 やすらぎの里 〒989-869-0030

グループホーム たかまーの家 〒989-867-0081

小規模多機能型ホーム 大道 〒989-865-0017

グループホーム 大道が丘 〒989-885-0036

有限会社ヘルスサポート 取締役 高良 まき子

有料老人ホーム 健寿の杜 〒989-866-3-10 TEL.098-840-0027

訪問看護ステーション 陽心会 〒989-866-0007 (代)
那覇市宇喜田1-3-17 TEL.098-860-1270

那覇市立老人施設センター 若狭 〒989-860-1270

那覇市立老人施設の家 〒989-860-1270

ヒルズガーデン那覇 〒989-864-0300

那覇市宇松川20-1 TEL.098-885-0300

デイサービスセンター 松川 〒989-885-0300

デイサービスセンター 若狭海岸 〒989-941-0110

在宅総合ケアセンター 大道 〒989-885-0030

那覇市地域包括支援センター かなぐく 〒989-852-0777

有料老人ホーム 大道中央 〒989-886-1227

デイサービスセンター リバーサイド 〒989-862-1501

有料老人ホーム 星の杜 〒989-917-1262

特別養護老人ホーム 前島 〒989-894-8039